

総務文教常任委員会

行政視察(研修)報告

10月29日 石川県野々市市
～人口減少対策について～



野々市市は、土地区画整理事業で、道路や公園整備を行い、企業や大規模小売店を誘致し、生活の利便性の向上という形で基盤整備を進めてきた。

市民への直接的な補助ではなく、利便性を考慮したまちづくりを行ったことから、住みやすさランキングにおいて上位の評価を得たことにより、野々市市に住みたいと思う方が増え、人口増加につながっているということであった。

10月30日 京都府長岡京市
～新庁舎建設について～

長岡京市は、新庁舎建設にあたっての住民説明会や住民参画について、新庁舎検討委員会、ワークショップ、団体や利用者との協議、パブリックコメントなどを実施し、市民の直接の声を反映した。

防災拠点としての庁舎機能については、災害発生時に災害対策本部の機能を十分に発揮できるよう、救援活動や復旧・復興活動の拠点として機能強化を図り、市民の安全と安心を確保できるように建設された。

10月31日 滋賀県草津市
～草津市立プールのPFI方式による整備について～

草津市は、市立プールの民間活力の導入によるコスト抑制や市民サービスの向上を目指しており、事業者が自主事業や合宿等を旅行業者と連携して呼び込みを行っている。

また、今後は施設を学校授業での利用について検討しており、学校からのバス等の移動手段やそれに係る経費を考慮し、来年度は1、2校をモデル校として、授業での利用を調整している。



市民福祉常任委員会

行政視察(研修)報告

10月9日 長野県駒ヶ根市
～子育て支援について～



駒ヶ根市は、駒ヶ根市プロジェクト・チームの設置及び運営に関する規程に基づき、第2期子育て全力応援！推進プロジェクト・チームを設置している。設置の目的は、新たな課題と今後の取り組みを明確にし、結婚・出産・子育てなどの施策の更なる充実を図ることである。所管が異なる職員によるプロジェクト・チームが出会いの創出、結婚、出産、そして子育てまで支援をつないでいくチーム力の素晴らしさを感じた。

10月10日 愛知県豊田市
～重層的支援体制について～

豊田市における重層的支援体制整備事業とは、住民の複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、相談支援・参加支援・地域づくりを

一体的に実施する事業であり、所属の対象ではない相談内容であっても適切に聞き取り、対応できる支援機関につなぐこととしている。重層的支援体制についてはみどり市も令和4年度より実施しているが、豊田市はより先進的な取り組みをしていると感じた。

10月11日 長野県飯田市
～ゼロカーボンシティについて～

飯田市は、内閣府から環境モデル都市に選定され、取り組みの一つとして、発電所「メガソーラーいいだ」が設置されている。飯田市は中部電力の管轄エリアであり、中部電力管内で初めてメガワット級の発電所が設置された。飯田市で土地を用意、使用許可を行い、中部電力で発電設備を全額負担で設置、管理し、安定的に電力供給を行っている。飯田市は幼少期から環境問題について学べる機会を設けており、市民からの理解を得るため20地区へ出向き、「こんなことをやってほしい」と市民へわかりやすく端的に説明とお願いをしていく職員の行動力と発信力の高さが印象に残った。



10月29日 石川県能美市

～企業誘致の取り組みについて～
～空き家対策の取り組みについて～



能美市は、①働く場所を増やす②人口を増やす③まちを元気にする、この3つの効果を狙って積極的に企業誘致を進めている。能美市が企業誘致に成功した要因は、東京・名古屋・大阪の三大都市圏からほぼ等間隔に位置することや、豊富な地下水の活用など、加賀産業開発道路等のインフラ整備と並行して企業誘致・住宅地開発を進めたことによる。

空き家対策の取り組みについては、空き家所有者への適正管理の啓発活動として、空き家対策セミナーや出前講座を実施したり、能美市空き家バンク制度を創設し、空き家の流通促進を図っている。また、令和4年度には、所有者から有効活用が見込まれる建物や土地を、市が寄付として受け入れる「空家等寄附受け補助事業」を新たに創設した。

10月30日 福井県あわら市

～芦原温泉駅前周辺整備について～

あわら市の芦原温泉駅前周辺整備は、福井県内の北陸新幹線の整備をきっかけに、福井県の北の玄関口として駅周辺の整備が進められた。

平成18年3月に芦原温泉駅周辺整備基本計画書が策定されるが、新幹線計画の具体化や地域ブランド創出事業などを背景に、平成29年3月に計画書が改定された。中心事業の一つである芦原温泉駅周辺賑わい創出事業では、市民アンケートやワークショップを通じて将来デザインを決定。芦原温泉駅周辺賑わい創出協議会を設立し、将来デザインの具体化に向けて賑わい創出のための事業や仕組みが作られ、令和5年3月には、駅周辺の賑わい創出の場として、芦原温泉駅西口賑わい施設「アフリア」をオープンした。イベントができる大きなオープンスペースや観光案内所、また、テーブルやソファが配備されているため、待合スペースとして過ごすことができる素晴らしい施設であった。



市民の皆さんは
どのテーマに関心がありますか？

一般質問

◆16 議員それぞれのテーマで議論を展開◆

P23 奨学金返還支援制度

P22 高津戸峡の甕穴保護

P21 消防団処遇改善

P20 岩宿駅整備計画

P19 スポーツ誘致

P18 東町観光資源

P17 職員メンタルヘルス

P16 空き家利活用

P15 カスタマーハラスメント

P14 災害避難訓練

P13 みどモスPay

P12 ごみ減量化対策

P11 国保診療所の在り方

P10 学校適正規模適正配置

P9 要害山の整備

P8 諸町市民農園